

2016年度「食と農免疫合同講義」第1回特別講義を開催

2016年7月1日（金）13:30～15:00に東北大学大学院農学研究科（雨宮キャンパス）第2講義室において、オランダ・ユトレヒト大学のDr. Guido Van den Ackerveken先生（植物・微生物相互作用教授）による「食と農免疫合同講義」（第1回特別講義）が実施されました。

この講義では「Plant disease susceptibility; host genes and pathogen effectors controlling infection」というタイトルにて講演いただきました。講演は2部構成となっており、前半では病原体が宿主因子を巧みに利用し感染を成功させている事例や、この因子を利用した防除法の可能性について、二つの植物免疫のネガティブレギュレーターを例に解説していただきました。後半では、ベと病菌が放出するエフェクターとその植物側の認識機構について、モデル植物を利用した実験系から、レタスやホウレンソウなどの作物への応用についてまで幅広い研究を紹介していただきました。学部3年生から大学院生、ポスドク、教員など多くの聴講者が集まり、非常に充実した合同講義となりました。

Guido先生には、翌日の第2回国際シンポジウム「Current and Future Trends in Food and Agricultural Immunology」においてもご講演をいただきました。

